

会議録要旨

(1) 会議の名称	第6回南越駅周辺まちづくり計画策定委員会
(2) 開催日時	令和2年2月7日（金） 19:00～21:00
(3) 開催場所	市民プラザたけふ 市民交流センター 多目的室1
(4) 出席委員氏名	南保委員、下川委員、西藤委員、石原委員、岡本委員、山田委員、美濃委員、大塚委員、平井委員、河端委員、三田村委員、酒井委員、龍田委員、勝木委員
(5) 欠席委員氏名	長谷川委員
(6) 出席所管課職員氏名	<p>福井県 交通まちづくり課 西野課長、産業政策課 久世参事 企業誘致課 谷川参事、観光誘客課 小山主任 都市計画課 白崎参事</p> <p>福井県丹南広域組合 竹中局長</p> <p>越前市 企画部 大蔵部長、藤原理事 建設部 伊藤部長、平野理事 建設部兼企画部 吉村特命監 建設部 児玉理事 産業環境部 小泉部長 まちづくり・総合交通課 坂川課長 産業政策課 諸山課長、商業・観光振興課 黒田課長 都市計画課 三田村課長、江端副課長、廣瀬主幹</p>
(7) 会議議題	<p>1 パブリックコメントの結果について</p> <p>2 南越駅周辺まちづくり計画について</p>
(8) 傍聴者の数	13名
(9) 会議資料名称	第6回南越駅周辺まちづくり計画策定委員会資料

(10) 会議の内容
の要旨

(説明事項に対する主な意見)

- ・Cゾーンの説明が分かりにくい。ショッピングセンターの記載が無いのは残念だが、商業集客となれば、ショッピングセンターとなる。
- ・人口減少の理由は、若者にとって魅力ある雇用の場・娯楽の場の不足だけでなく、大学といった学びの場の不足など様々な要因が考えられるのではないか。
- ・先行整備ゾーン内の道の駅の計画も、このまちづくり計画を踏まえたものにして欲しい。
- ・新幹線と岩内山の間にも開発の目が向くようにしてほしい。
- ・民間開発をコントロールしていくことが行政の役割ではないか。
- ・民間の開発に向けて、行政として具体的な方策を考えて欲しい。
- ・商圈中心のマーケットインの考え方から、市場を創造するマーケットクリエーションへ考え方を転換できるようにする必要がある。
- ・計画で明確な方向性が分かりづらいため、パブリックコメントが少なかったのではないか。
- ・まちづくりのテーマである「地域特性」の地域は、どういうエリアで捉えているのか。
- ・市民に対して、南越駅の重要性・価値を理解してもらうような開発を進めなければならない。
- ・本日の意見を踏まえ、計画案の一部修正については委員長に一任する。